



チームと授業を「創り上げる」メンター研修

～授業づくりの「プロセス」を通して～



藍住町立藍住東小学校

【めざす授業づくりの姿】

「自分事として」
「仲間と協働して」
「問いを持ち続けながら」

取り組む
取り組む
取り組む

主体的、
対話的で
深い学び

チームと授業を「創り上げる」 メンター研修



笑いあい
支えあい
学びあい

学校教育目標
めざす学校像
めざす子供像
めざす教師像

チームで授業づくりを行う「プロセス」を通して、参加者どうしの関係性を豊かにし、教員としての力量を自律的に高めることを目指す

序章・・・機会を捉えて「やってみる」

学校訪問の授業づくりを、チーム(ベテラン・ミドル・メンターリーダー)で分担して取組んでみる。



授業検討会



研究授業



授業研究会

【問い】

メンターで授業づくりに
取り組むときにはどうし
たらいいだろう？

チームで取り組むと、
学びも多いし、授業者じゃない
私も達成感を感じられた！
でも、もっと自分事として取り
組めたらいいな。



メンターリーダー

第1章・・・みんなで「始めてみる」

学校訪問の経験をもとに、メンターチームで指導案づくりをスタート！

授業者の思いを
実現するには？

メンターリーダー

学級担任
(授業者)

【授業者の思い】
〇〇を実践してみたい！

【授業づくり】

〇指導案づくりをメンバーで分担
〇教材づくり、教室環境整備等をメンバーで分担

児童の実態は…
前年度担任

私と同じ熱量で取
り組んで欲しいな

私たちはどう関わ
ればいいのか？

学びが深まる
手立ては…

支援学級担任

教科担当

指導案は…

授業者

みんなが自分事として
授業づくりに取り組めようするには？

【問い】

メンターリーダー

メンバー

第2章・・・みんなで「つくる」

チームづくり、授業づくりについて みんなで考える！



チームで
取り組む
意味って？

【問い】

授業について
メンターで話し合い
やってみよう！

どうして
チームがいいの？



講師を招いて
「協働」の
ヒントをもらう

【問い】

本時の授業が
できるって？
チームの誰もが？

第1弾の
指導案

〇〇の授業とは…



助言者の先生からの指導

「協働」も進めたい！
授業の質も高めたい！



チームへの帰属感の
力量形成要求の

やってみよう！

どうして
チームがいいの？

なるほど！

熱量を共有するには？

できた！

授業の質を
向上させるには？

みんながいいものを！

第3章・・・みんなで「創り上げる」

チームも授業も創り上げる！



もっとみんなで！もっとよいものを！



子供の見取り
授業中も協議
フィードバック

次への序章・・・新たな「問い」

成果と課題を整理し、持続可能で充実した実践にするために

1人では気
づかなか
った視点や、わ
からなかつ
た知識を得
ることがで
きた。

年齢の近い
先生方と接
する機会が
増え、お互
い前より関
わりやす
くなった。

サークル型で
心理的な負
担は軽減で
きた。次は、
時間的な負
担の軽減を
目指したい。

年度当初
から内容や
頻度などを
計画してお
くといいか
と感じた。

大変だったけれど、メンバーから「みんな
で取り組めて、学びもあったし楽しかつ
た」との声があったのが何より。
でも、この取組を持続可能な
ものにしていくにはどうしたら？

新たな【問い】

メンターリーダー

学びの量の増大、関係性の向上

ワークライフバランス、計画的な実践

今日から始める私らしい学び

～南部中・川内中合同メンター制研修～

ACT0 今日の問い、研修のルール等

「私らしい」先生として、これからどんな学びを創り、どんな成長をしていきたいですか？

今日の問い

研修のルール

恐れずに自分の思いを出します

失敗、間違いOK!

他の人の言葉に耳を傾けます

参加者は自身の価値観や学び方を意識

誰もが安心して話し、意見を交わせる空気づくり

ACT1 つながる・語る

仲間と出会う時間



ACT1-1「4つの部屋」

1分間で自己紹介をしよう!

(呼ばれたい)名前 + 教科	好きな〇〇
夏休み満喫度 ○/10	自分の強み・今日のチャレンジ



内省力

自己開示力

先生方の傾聴する姿勢がとても温かい雰囲気を作ってくれました。気兼ねなく話せる空間や環境を作ることが学級経営の中でも大切なことなんだと、改めて気づくことができました。

ACT1-2「さいころトーク」

さいころトーク 自分で決めて 6のテーマはグループで作ろう!

- 教師になったきっかけ
- 私のストレス解消法
- 最近のちょっとうれしかった(感動)エピソード
- 今ちょっと聞いて欲しい悩み
- 好きな給食のメニュー

あいづち 笑顔 うなずき



6の目の問いはグループで作成

関係構築力

共感的対話力

初めましての先生だからこそ、学校の状況や自分の状況を言語化することによって、自分の頭の中を整理しながら見つめ直すことができました。



参加者

ACT2 見つめる・えがく

自分と出会う時間



ACT2-1

今の自分を「見える化する」

ACT2-2

今の自分を語り合う

ACT2-3

5年後の理想の自分を「デザイン」する

ACT2-4

未来の自分を語り合う

“今の自分”の学び方に合うカードを3枚選び、理由・エピソードを考える。

“5年後の理想の自分”を想像し、そのために必要だと思うカードを3枚選び、理由・エピソードを考える。



【5年後の理想の自分】

- あらゆることの主語を生徒に
- おんぶに抱っこ→背負う側へ

自己理解力

探究的思考力

5年後を考えることによって、今までより自分のやりたいことが明確になった。



参加者

学びのメタ認知力

ビジョン形成力

キャリアプランや今後の実践を見つめ直すきっかけになりました。

ACT3 つなぐ・活かす

未来へつなぐ時間



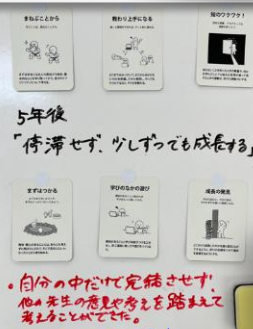
振り返り

アウトプット

どんな学びや気づきがありましたか？

【今日の気づき】

- 色々な「らしさ」をもつ先生がいて学校が成り立っている
- 自分の思っていることを人に話すことで、自分自身にも気づくことができる



行動化力

自己成長力

実践計画力

【小さな一歩宣言】

- 人と話し、“人”を知る(関係づくり、まねび成長)
- インプットとアウトプット

5年後に支える側の教員になれるように、今は他の教員から学び、真似をし、1つずつ積み重ねたい

今日の問いの回答

何でもチャレンジする!ことを大切にしていきたい。教職員同士も生徒と共に挑戦し、成長していける教員になりたい。

地域で児童生徒を育む「対話型」授業研究会

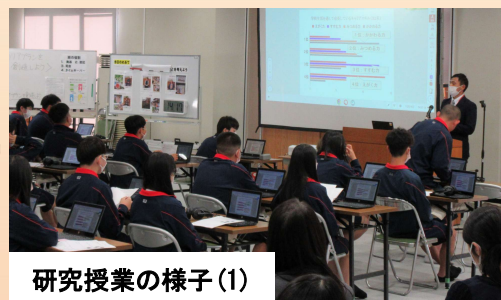
東みよし町加茂地区における取組

12月に実施された「学校力向上コラボレーション事業」での授業研究会を紹介します!

加茂地区（三加茂中学校、加茂小学校、三庄小学校）において、三加茂中学校とそれぞれの小学校とは車で約5分程の距離にあり、互に行き来がしやすい環境にある。同地区では、コロナ禍以前には交流活動などを通じた連携が活発に行われていたが、コロナ禍以降連携が希薄となっていた。令和6年度からの「学校力向上コラボレーション事業（2年間）」を活用して、地域の小学校との連携の復活とともに、中学校だけではなく地域全体が同一歩調で学校力を向上させていきたいという願いを持って授業研究会を実施してきた。

研究授業 私のキャリアプランを創造しよう(2年生)

授業では「なりたい大人像を描き、実現に向けて今実践できることを考える」活動を行った。生徒は、アンケート結果や職業体験学習を振り返り、シンキングツールを活用して考えを深めていた。



研究授業の様子(1)

授業研究会① 本日の授業について(授業者から)

【めあて】を明確にする活動、【振り返り】を丁寧に行う活動を重視した授業を行った。効果的なものとなったかが課題である。



研究授業の様子(2)

授業研究会② グループ協議(20分)

(話し合いの内容)

「研究授業・日頃の実践を振り返り、【めあて】と【振り返り】とが効果的なものとなっているかについて、実践内容を含めて情報共有」を行う。

(話し合いの様子)

- ・各班（9班、各4名）とも小学校と中学校の教員で構成されていた。
- ・発言内容を、発言者以外が自然とホワイトボードに記録していた。
- ・日々の実践の例を具体的に示した情報共有が行われていた。
- ・対話を通して、実践内容や児童生徒の様子について共有していた。

(内容；特徴的であったもの)

- ・小学校の時の様子を伝えながら、小学校からの成長を感じている。
- ・小学校の時はほとんど記述できなかった児童が、自分の考えを記述できるようになっている。
- ・ワークシートに記述することで、1年間での成長を見ることができる。



授業研究会の様子(1)

授業研究会③ グループ協議内容の共有(各2分)

(各班の発表内容；特徴的であったもの)

- ・(研究授業では)生徒が自分事として受け止め考えていた。具体的に話をさせることで目標に到達できる。学びを数値化することで今の自分を振り返ることができていた。
- ・(生徒自らが)以前の自分を超越するための【めあて】を設定させていた。
- ・自分自身で学びの観点を決めることで取組方針を考え、取組の状況を数値化することで意欲的に授業に取り組んでいた。



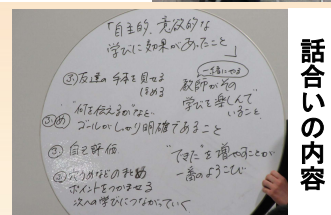
授業研究会の様子(2)

授業研究会④ 授業研究会のまとめ

(指導主事の話；特徴的であった内容)

- ・【振り返り】が次の授業に繋がっていく。
- ・「自主的・意欲的な」子どもの姿とは・・・
- ・学校力向上コラボレーション事業で得たものを各校で展開していただきたい。

★参観者から「ここは1つの学校なのかと思った」という感想があった。



話し合いの内容

<参観させていただいて>

1つの学校であるかのように研究会が自然に行われていることに驚いた。耳を澄ますと、生徒の小学校時の様子を知ることができた、中学校での成長を見ることができた、といった喜びの声が聞こえてきた。今回のテーマ【めあて】と【振り返り】の大切さについても事例を含めて共有されており、地域で児童生徒を育む土壌が醸成されていると感じた。

<今後の予定(校長先生より)>

東みよし町では、小学校6年生が中学校生活を体験する「中学校訪問」を実施しており、教員の交流の場にもなっている。また、令和8年度には、中学校教員の小学校授業参観を計画している。今後も、小中交流を継続し、地域全体で児童生徒を育てていきたいと考えている。